

総務委員会 資料

平成 27 年 1 月 21 日(水)

陳情第 186 号

慰安婦問題に関して正しい歴史教育を行うこと
を求める陳情

資料 1 中学校学習指導要領解説 社会編

高等学校学習指導要領解説 地理歴史編 抜粋

資料 2 高等学校

平成 26 年度及び平成 27 年度

使用教科用図書における記載内容

教育委員会

資料 1

○中学校学習指導要領解説 社会編

カ 経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを通して，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。

・・・。「戦時下の国民の生活」については，身近な地域の事例を取り上げるなどして，戦時体制下で国民の生活がどう変わったかに着目させるとともに，平和な生活を築くことの大切さに気付かせる。

この中項目の学習に際しては，「世界の動きと我が国との関連に着目して取り扱う」（内容の取扱い）ようにする。また，我が国が多くの国々，とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたこと，各地への空襲，沖縄戦，広島・長崎への原子爆弾の投下など，我が国の国民が大きな戦禍を受けたことなどから，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させ，「国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であること」（内容の取扱い）に気付かせる。

○高等学校学習指導要領解説 地理歴史編

・日本史A

(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場，国内の経済・社会の動向，アジア近隣諸国との関係に着目して，二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。

・・・さらに，中国との戦争の長期化及び国際関係の悪化，戦時体制の強化という動きに着目して，我が国で全体主義的な国家体制が進展し，やがて米英等の諸国との戦争に拡大していった過程を考察させる。また，戦時体制下における経済の統制，学問・思想・教育などの分野における統制により国民の生活や意識がどのように変化したかを考察させる。その際，戦場となった地域を含むアジア各地や戦争相手国の動向についても考察させる。

なお，第二次世界大戦については，我が国が多くの国々，とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたこと，我が国においても各地への空襲，沖縄戦，広島・長崎への原子爆弾の投下をはじめ空前の戦禍を被ったこと，この戦争が世界の諸国家・諸民族に未曾有の惨禍をもたらし，人類の文化と生活を破壊したことに着目させ，平和で民主的な国際社会の実現に努めることの重要性を自覚させるようにする。

・日本史B

国際社会の動向，国内政治と経済の動揺，アジア近隣諸国との関係に着目して，
対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわり
について考察させる。

。。さらに，中国との戦争の勃発とその長期化，それがもたらした欧米諸国との外交関係の変化，国内経済や国民生活への影響，学問・思想・教育などの分野における統制などに着目して，我が国で全体主義的な国家体制が進展し，やがて米英等の諸国との戦争に拡大していった過程について考察させる。その際，戦場となった地域を含むアジア各地や戦争相手国の動向についても考察させる。また，参戦した国々それぞれの国家体制の差異や，戦争の形態が国力のすべてを動員する総力戦であったという特性に留意させるとともに，我が国が多くの国々，とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたこと，我が国においても各地への空襲，沖縄戦，広島・長崎への原子爆弾の投下をはじめ空前の戦禍を被ったこと，この戦争が世界の諸国家・諸民族に未曾有の惨禍をもたらした，人類の文化と生活を破壊したことに着目させ，平和で民主的な国際社会の実現に努めることの重要性を自覚させるようにする。

資料 2

○高等学校

平成 26 年度使用教科用図書 (今年度使用中)

・日本史 A 旧課程

社	教科 書名	高等学校	p	文章
実 教 出 版	日 A 008	橘(全) 高津(定)	137	歴史のまど 大東亜共栄圏の実態 そして軍も設置に関与した慰安所には、日本軍の監理のもとで兵士の性の相手として、朝鮮を中心に、中国・インドネシア・フィリピン・オランダなどの多数の女性を慰安婦として動員した。
山 川 出 版 社	日 A 010	高津(全)	133	注釈 また、慰安婦として戦地の慰安施設で働かされた女性たちもいた。
山 川 出 版 社	日 A 013	川崎(全)	200	コラム 「皇民化政策」 また、慰安婦として、各地の軍に従った人もあった(いわゆる従軍慰安婦)。
第 一 学 習 社	日 A 014	商業(全) 総合(定)	111	本文 また、朝鮮人を中心とした多くの女性が慰安婦として戦地に送られた。

・日本史 A 新課程→なし

・日本史B 旧課程

東京書籍	日B 003	川崎(定)	234	注釈 また、慰安婦として戦地に送られた植民地や占領地の女性も少なくなかった。
山川出版社	日B 012	川崎(全)	342	注釈 また、戦地に設置された「慰安施設」には、朝鮮・中国・フィリピンなどから女性が集められた（いわゆる従軍慰安婦）。
実教出版	日B 013	高津(定)	203	歴史のまど 大東亜共栄圏の実態 日本軍も設置に関与した慰安所に、日本軍の監理のもとで兵士の性の相手として、朝鮮人を中心に、中国人・インドネシア人・フィリピン人・オランダ人などの多数の女性を慰安婦として動員した。
清水書院	日B 016	商業(全)	219	本文 また、戦地には慰安婦も送られたが、朝鮮人が多かった。

・日本史B 新課程

山川出版社	日B 301	川崎(全) 橋(全) 高津(全)	365	注釈 また、戦地に設置された「慰安施設」には、朝鮮・中国・フィリピンなどから女性が集められた（いわゆる従軍慰安婦）。
-------	-----------	------------------------	-----	---

平成27年度使用教科用図書 (来年度使用のため選定されたもの)

・日本史A 旧課程→なし

・日本史A 新課程

社	教科書名	高等学校	p	文章
東京書籍	日A 301	橘(全)	136 137	本文 日本の植民地や占領地では、朝鮮人や中国人・フィリピン人・ベトナム人・オランダ人など、多数の女性が「慰安婦」にかりだされた。慰安所は、中国・香港・シンガポール・オランダ領東インドから、日本の沖縄諸島・北海道・樺太までにおよんだ。
山川出版社	日A 303	高津(全)	131	本文 また、慰安婦として戦地の慰安施設で働かされた女性たちもいた。
第一学習社	日A 304	商業(全) 総合(定)	119	本文 また、朝鮮人を中心とした多くの女性が慰安婦として戦地に送られた。
実教出版	日A 305	高津(定)	97	本文 また、朝鮮や台湾、中国、インドネシア、フィリピン、オランダなどの多数の女性が、日本軍兵士の性の相手をする「慰安婦」として戦場に送られました。
山川出版社	日A 307	川崎(全)	166	注釈 また、戦地に設置された「慰安施設」には、朝鮮・中国・フィリピンなどから女性が集められた(いわゆる従軍慰安婦)。

・日本史B 旧課程

東京書籍	日B 003	川崎(定)	234	<p>注釈</p> <p>また、慰安婦として戦地に送られた植民地や占領地の女性も少なくなかった。</p>
美教出版	日B 013	高津(定)	203	<p>歴史のまど 大東亜共栄圏の実態</p> <p>日本軍も設置に関与した慰安所に、日本軍の監理のもとで兵士の性の相手として、朝鮮人を中心に、中国人・インドネシア人・フィリピン人・オランダ人などの多数の女性を慰安婦として動員した。</p>

・日本史B 新課程

山川出版社	日B 301	川崎(全) 橋(全) 高津(全)	365	<p>注釈</p> <p>また、戦地に設置された「慰安施設」には、朝鮮・中国・フィリピンなどから女性が集められた(いわゆる従軍慰安婦)。</p>
清水書院	日B 306	商業(全)	223	<p>本文</p> <p>また、戦地には慰安婦も送られたが、それには朝鮮人が多かった。</p>